

火災科学研究所 所長・創域理工学研究科

松山 賢 教授 講演会

【生命と財産を守る防火の科学】

～火災リスク・被害低減に向けた

火災科学研究分野の取り組み～

火災科学研究所 見学会

【世界トップレベルの規模と機能を誇る

火災科学研究所実験棟の見学】



日頃よりこうよう会の活動にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます
この度 松山 賢 教授による講演会を開催致します
また会員の皆様の親睦を図る楽しい企画も用意しておりますので、
皆様のご参加お待ちしております！

日時

2024年 11月 9日(土)

時間

10時30分 ～ 16時00分

※10時から10時25分までに受付をお済ませ下さい

場所

東京理科大学野田キャンパス

【講演会】 講義棟 K101教室

【昼食】 レストラン[カナル]

【見学会】 火災科学研究所

【懇談会】 レストラン[カナル](予定)

参加費

無 料 (学食の食券代は参加者負担)

申込み

こうよう会HP「行事WEB申込」から

<https://www.tus.ac.jp/event/entry/koyo/login/>

申込締切：2024年 11月 4日(月)

定 員：先着 50名(1世帯につき2名まで)

スケジュール

10:30～12:00 講演会【生命と財産を守る防火の科学】

12:00～13:15 昼食会「なるほど！学食体験！」

13:30～14:30 【火災科学研究所】見学

14:30～16:00 懇談会「なるほど、なるほど！みんなでしゃべろう会」

受付は
【講演会場入口】
です

学生気分学食を
お楽しみ下さい！
参加は自由です。
食券代は各自負担を
お願いします



松山先生と交えた楽しい
イベントを企画中！
お楽しみに！

松山 賢 教授 プロフィール

2000年に博士（工学）東京理科大学。東京理科大学
助手、准教授、教授，2018年度より現職、2021年度
より同大学総合研究院火災科学研究所 所長。専門は
火災安全工学。主に、建築火災を対象に燃焼・煙流
動など、様々な火災現象に関して実験的なアプロ
ーチでメカニズム解明を実践。2020年日本火災学会賞。
日本防火技術者協会理事、国際火災安全科学学会
（IAFSS）理事。

「研究室紹介(創域Journal)」



講演概要

生命と財産を守る防火の科学

近年、火災の発生件数は減少傾向にあるが、
いまだ主要な災害の一つである。また火災を
未然に、あるいは初期に食い止めなければ市
街地レベルまで延焼が拡大してしまう恐れも
ある。その発生要因をはじめ、対象も多様で
あり、様々な視点で研究を行う必要がある。
社会の変容やニーズに応じて火災の様相も
変化している事を示しながら、こうした火災
に対する被害低減に向けた取り組みについて
紹介する。

施設紹介

安全・安心への配慮は社会発展の要であり、本
学は国内外において火災工学分野の中核として
貢献してきました。最近、特に東アジアでは、日
本がこれまで経験してきたよりも急激な都市化
が進行し、近代都市施設において石油製品等の
燃焼を伴う火災・爆発による重大な死亡・損害が
多発し、リスクが巨大化しています。本学の火災
安全工学に関わる教育研究分野は、この喫緊の
事態に対処していく義務があり、同時に将来の
火災事故の変質を予測し、それを防止するた
めの革新的教育研究システムづくりに一層努め
ていくことが期待されています。本研究所の研究
成果は、国内外、特に東アジア地域における火災
安全に大きく貢献するものと確信しております。

野田キャンパスへの アクセス

住所:千葉県野田市山崎2641

東武アーバンパークライン
「運河」駅下車徒歩5分

○正門から講演会会場までは
さらに5分ほどかかります。

○駐車場はございません。
公共交通機関をご利用下さい。



【注意事項】

- ・千葉県支部の係員が行事の撮影をします。その画像はこうよう会 HP および会報「浩洋」に掲載されることがあります。
- ・この御案内は千葉県内にお住いのご父母宛に東京理科大学 校友・父母支援課から発送しています。